



社会保障改善を求める10・21国民大集会（日比谷野外音楽堂）

厚生協会だより

2010年11月21日
第 304 号

発行
(財)宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：長澤 清光



2010年度

上半期収支結果と 下半期の課題

専務理事 長澤 清光

1. 上半期経営到達の特徴

■上半期経営到達は法人全体で事業収益の増加の下で予算利益を確保しました。経常損益は1億14百万円の黒字となり、当期損益は69百万円余りの黒字になりました。当期利益は予算51百万円に対して18百万円増加しており、前年同期実績から1億73百万円ほど改善しています。

全役職員の皆さんの奮闘で経常利益1億14百万円の黒字、当期利益69百万円を確保できたことに感謝申し上げます。
厚生協会の2010年度の課題は、今年度の経営結果を受け「公益法人認定取得申請」を行える道筋をつけるために、全事業所が予算計画を着実に執行し、結果をだすことが決定的に重要と位置づけました。
厚生協会の事業継続を願う役職員の皆さんの痛切な思いによって成立した退職金制度改定で与えられた新たな経営条件を、今後の厚生協会の発展に結実させることが、理事会及び事業所管理部の役割であり責務と受け止めております。

■事業収益は73億19百万円を確保し予算を33百万円超過、前年実績から3億12百万円ほど増加しました。医業収益は予算を11百万円超過し、前年実績から3億6百万円ほど増加しています。内訳では入院収益が予算比28百万円増、前年比2億55百万円増と予算目標及び前年実績を大きく増加しています。一方、外来収益は、前年比33百万円増となりましたが予算比で11百万円下回りました。介護収益は22百万円の予算超過、前年比でも6百万円の収益増となりました。
■事業費用は、予算対比で23百万円ほど下回りました。この要因は、職員の皆さんの努力で材料費が予算を27百万円下回ったことが大きいです。人件費は退職金制度改定により引当金繰入で前年比1億17百万円ほど下回り、予算を6百万円下回りましたが、賞与支給率の引上げにより賞与繰入が1億65百万円ほど増加するなど、前年比で1億64百万円増加しています。経費は予算を18百万円上回り、猛暑の関係もあり水道光熱費の増加や修繕費で予

表1 上半期法人損益計算書

単位：百万円

科 目	累計実績	構成比	予 算	増減額	前年度実績	増減額
(入院収益)	4,002	54.7%	3,974	28	3,747	255
(外来収益)	2,200	30.1%	2,225	▲ 25	2,167	33
【医業収益】	6,546	89.4%	6,535	11	6,240	306
【介護収益】	767	10.5%	745	22	762	5
〔事業収益〕	7,319		7,286	33	7,007	312
【人件費】	4,758	65.0%	4,764	▲ 6	4,593	165
【材料費】	768	10.5%	795	▲ 27	772	▲ 4
【委託費】	402	5.5%	402	0	399	3
【経費】	814	11.1%	796	18	793	21
【リース料】	84	1.1%	93	▲ 9	103	▲ 19
【減価償却費】	296	4.0%	296	0	349	▲ 53
【消費税】	105	1.4%	104	1	102	3
〔事業費用〕	7,227	98.7%	7,250	▲ 23	7,112	115
〔事業利益〕	92	1.3%	36	56	▲ 105	197
【事業外収益】	85	1.2%	66	19	66	19
【事業外費用】	62	0.8%	51	11	52	10
【経常利益】	114	0.4%	51	64	▲ 90	206
【特別利益】	5	0.1%	0	5	0	5
【特別損失】	50	0.7%	0	50	14	36
〔当期利益〕	69	0.9%	51	18	▲ 104	173

算を上回ったことが反映しています。

2. 各病院・事業所の状況

■坂総合病院は、当期利益で予算を68万上回りました。事業収益では前期を1億38百万円ほど上回るも予算に24百万円届きませんでした。入院収益は前年比で

1億10百万円上回っています。要因として、入院時医学管理加算や診療報酬改定対応で看護補助加算・リハビリ・地域医療夜間診療料等の加算取得の影響が大きく反映しています。一日当たり患者335人の予算に対して335.5人の到達となっています。外来収益は、患者数

の増加により前年を上回りましたが日当円が予算に到達しませんでした。事業費用全体では予算を74万ほど下回りました。材料費で予算を37百万円ほど下回りました。原価管理システムによる消費管理や価格交渉・切替、在庫削減等の取り組み努力による削減の成果です。

■長町病院は、

事業収益で予算を28百万円ほど上回り、当期利益で予算を23百万円ほど上回る到達となりました。入院収益で予算を27百万円ほど上回る到達となったことが大きな要因です。入院一日当たり患者数は目標128人に対して128.9人。日当円は28,968円の目標に対し29,937円と奮闘しました。診療

療報酬改定の影響と、改定への対応としてセラピストの増員による稼働日数増等で増収につなげたことが大きく現れています。外来収益は予算を180万ほど下回りましたが、専門外来廃止による患者数減の影響があります。下半期課題として、ベテラン嘱託医の病休・休診が予定されており外来予算未達が確実で、入院予算超過を維持することが求められています。

■古川民主病院は、

事業収益で予算を6百万円ほど上回る到達となり、当期利益で予算を1百万円ほど上回りました。入院収益で予算を60万円、外来収益で予算を180万円超過しました。外来患者数は一日当たり190名の目標に対して7.9名超過しましたが日当円では予算に届いていません。入院は、一般病床で前年より稼働病床を10床増床し一日当たり37.3床の目標に対し36.6床、介護病棟は40床の目標に対し40.8床の稼働となっています。下半期は厳しい医師体制となっています。病床稼働目標を堅持することが重要です。



坂総合クリニック総合受付

■泉病院は、

入院収益・外来収益とも予算を上回り、事業収益全体で予算を21百万円ほど上回る到達となりました。病棟運用の見直しで稼働病床を増やすことで患者数が予算を超過し、日当円でも予算を359円超過しました。後期研修医2名配置が患者増・収益増に大きく影響しました。外来は患者数で予算に届かなかったものの、日当円で予算を939円超過し外来収益予算を14百万円ほど超過しました。しかし、事業費用では予算を13百万円ほど超過しており、下半期、収益構造に見合う費用構造への転換が求められています。

■診療所群は、昨年度と同様に赤字黒字の事業所が鮮明と

表3 事業所別予算対比/前年対比

全 体		単位：百万円					
		事業収益			当期利益		
		実 績	予算/前年	増 減	実 績	予算/前年	増 減
坂 合 計	3,971	3,995	▲ 24		129	62	67
		3,833	138			▲ 16	145
長 町 合 計	1,113	1,085	28		24	1	23
		1,053	60			▲ 25	49
古 川	514	508	6		3	2	1
		479	35			▲ 27	30
泉	754	733	21		▲ 6	▲ 20	14
		675	79			▲ 62	56
診療所合計	329	332	▲ 3		▲ 5	▲ 10	5
		336	▲ 7			▲ 1	▲ 4
歯 科 合 計	171	182	▲ 11		▲ 15	▲ 10	▲ 5
		168	3			▲ 20	5
訪問看護	255	252	3		22	19	3
		255	0			29	▲ 7
訪問介護	200	195	5		23	21	2
		197	3			28	▲ 5
事務局・公益	10	5	5		▲ 108	▲ 14	▲ 94
		11	▲ 1			11	▲ 119
協会合計	7,319	7,286	33		69	51	18
		7,007	312			▲ 104	173

表4 診療所別予算対比/前年対比 (再掲)

		単位：百万円					
		事業収益			当期利益		
		実 績	予算/前年	増 減	実 績	予算/前年	増 減
くりこま	60	67	▲ 7		▲ 1	1	▲ 2
		66	▲ 6			2	▲ 3
中 新 田	55	56	▲ 1		2	▲ 2	4
		61	▲ 6			▲ 3	5
仙台錦町	62	60	2		0	0	0
		62	0			4	▲ 4
健 診 セ ン タ ー	39	38	1		▲ 1	▲ 2	1
		36	3			▲ 2	1
福 田 町 クリニック	18	16	2		0	▲ 4	4
		18	0			0	0
若 林 クリニック	26	28	▲ 2		▲ 6	▲ 5	▲ 1
		26	0			▲ 6	0
北部診療所	68	67	1		2	1	1
		67	1			4	▲ 2
診療所合計	329	332	▲ 3		▲ 5	▲ 10	5
		336	▲ 7			▲ 1	▲ 4

なっており、赤字事業所の黒字化が急がれます。くりこまクリニックは、今年に入ってじん肺患者・慢性疾患患者の高齢化による死亡・入院・施設入所などで患者数が減少しており、回復が困難になっており、同様に訪問看護ST等介護事業にも影響を与えています。

■**歯科群**は、前期より事業収益を増やしましたが、古川歯科は当期利益▲7百万円の予算に対して▲12百万円と予算に5百万円届きませんでした。

た。同様に長町歯科も当期利益▲86万円の予算に対して▲1百万円と19万円ほど届いていません。2011年度黒字化への具体化が急がれます。

4. **下半期の改善課題**
上半期は事業収益の増加により黒字化を実現することができましたが、固定費の増加傾向が顕著であり、下半期の利益確保は容易ではありません。下半期予算は、事業収益72億92百万円を確保する計画

下半期は医師体制や看護師体制が厳しくなり、引き続き既卒看護師確保に法人あげて全力を尽くします。診療体制等の厳しさもありますが、事業所収益予算を達成するために、各事業所で入院稼働目標や外来目標に責任を持った取り組みを強めましょう。全ての部門・職場で下期職場目標を再確認し、効率的な業務執行に心がけ、時間外労働の是正など労働効率の改善を進めるなど費用管理の強化徹底など、冬場に向かって増加する固定費の削減に意識的に取り組むことが必要です。下半期の医療・経営活動の成否は、いま公益認定申請を準備している厚生協会にとつて、法人移行が可能になる事業経営構造をつくれるかの試金石となります。部門・職場の話し合いを大事にしながら、私たちの民医連医療・介護事業を守り、発展させる気概を持って大いに取り組みを強めましょう。



県連学術運動交流集会

各地域で大盛況!!

第19回 長町病院友の会



ちびっこに大人気のパルーン・アート

地元・長町商店会役員が扮するホスピタル・クラウン（ピエロ）と職員がつくるパルーン・アートはちびっ子に大人気。恒例の「寸劇」は会場を大いに沸かしました。初めての「血糖値測定コーナー」と「喫茶コーナー」も大盛況。喫茶コーナーには「長町まざらいん会」の協力。昔の長町の風景写真が飾られ、ちょっとした話題に。

9月26日 1100名

第9回 若林クリニック友の会



仙台東高校吹奏楽部の演奏に大感動

沖野市民センターで開催。地元こどもたちのチアリーダーでオープニング。数々の出し物に笑い、歌い、拍手したり。フラワーアレンジ、おもちゃ・ちぎり絵、太極拳体験、産直市も盛況。骨密度測定、血圧・体脂肪測定、栄養士の食事相談もあり、「無料の激うま鍋汁」に舌つつみ。仙台東高等学校・吹奏楽部の演奏に大感動。あっという間の5時間でした。

10月3日 286名

第32回 坂総合病院友の会



勇壮で華麗な多賀城遊舞会の「よさこいソーラン」

塩釜ガス体育館で開催。「よしこの塩竈」踊りで開幕。いろいろな出し物や2名の医師の平和イベント参加報告も。塩釜高校合唱部のやさしいハーモニー、締めは多賀城遊舞会のよさこいソーラン。健康チェックコーナーは初登場のフットケアや各種測定など各コーナーは人々。模擬店も完売続出。展示コーナーでは作品に見入り体験コーナーも多くの人でした。

10月17日 2300名

第14回 泉病院友の会



癒しのヨーデルチロリアン

前夜の雨もあがり予報を覆す奇跡的な好天に恵まれ、賀茂神社駐車場を会場に開催しました。泉館山高校吹奏楽部の演奏に元気をもらい、ヨーデルチロリアンの歌声に癒された一日となりました。

10月10日 1000名

友の会 健康まつり

第23回 大崎健康福祉友の会古川支部



初登場の抹茶サークルの抹茶コーナーは大好評

大崎市民会館で開催。記念講演は「いのちの平等めざして」というテーマで県連天下事務局長より、医療・福祉の現場の実態が報告され、聞き入った多くの方々から「大変感銘を受けた」との感想が出されました。

9月12日 1050名

第12回 くりはら健康福祉友の会



豚汁350食が完売でした

「地域のみなさんと共に楽しいまつりを」と奮闘。神楽や会員さんが励んでいる舞踊と唄で盛り上がりました。クリニック内では会員さん自慢の作品、書道・絵手紙・陶芸・手芸・甲冑・彫刻・帆船などを展示。健康チェックコーナーでは、特に頸動脈エコー体験が好評。参加券で豚汁・おにぎりをいただき、バザー・フリマでは「かぼちゃはっと」が人気でした。

10月24日 350名

第5回 大崎健康福祉友の会遠田支部



長蛇の列となった頸動脈エコー体験コーナー

メインは菅原茂古川民主病院副院長による講演「健康で長生き」についてでした。健康まつりならではの企画である健康チェックコーナーは大盛況で、長時間の待ち時間があっても頸動脈エコー体験や肺年齢検査体験コーナーは終日賑わいました。

10月10日 450名

第11回 大崎健康福祉友の会加美支部



古川民主病院歯科衛生士の千葉さんの踊りは会場を魅了

小野田文化センターで開催。記念講演は大窪豊中新田民主病院院長が「私の健康法」と題して、自分が治療している病気への対応方法を話され、これまでと違った視点の講演となりました。秋の収穫も終わり、近隣の農家の方々など芸達者な会員さんの歌や踊りが披露されました。

10月3日 450名



帽子、Vサインゼッケン2539番が鈴木誠さん



松島ハーフマラソンに初参加 「完走した達成感と充実感！」

泉病院リハビリ室

P T 鈴木 誠

練習は進まず時間だけが過ぎていく

同じ職場の先輩からの誘いもあり出場を決めたマラソン大会（*県連からは20名以上、うち泉病院11名参加）。これまで本格的にスポーツをしてこなかった自分にとってはなかなか一大決心でしたが、本番当日に向けて練習を重ねていくことは大変でありながらも楽しく、昼休みに各々の練習の進行具合を話したりすることが面白くもありました。しかし仕事が終わってからの時間を有効に使うとはするものの、思うように練習は進まず、無情にも時間だけが過ぎていきました。

「走るな、止まれ」という指令が

大会当日は雨という予報を跳ねのけて、むしろ陽が差す天候。スタート地点には想像以上の人が並び、気持ちが昂ってくるのを感じました。そしていよいよスタート。走り出せばそれぞれ自分のペースになり、他のスタッフが見えなくなります。さすがは全国的にも有名な松島ハーフ。話には聞いていたものの想像以上のアップダウンが続きます。人生で初めて自分の足から「走るな、止まれ」という指令が来たりしたものの、顔を上げると緑が広がり、横には海が見えたりとロケーションは最高でした。開始前に目標としていた「完歩ではなく完走」だけを考えて一歩一歩進むとFINISHの文字が目前に。結局2時間は切れなかったものの、気力で完走することができました。

すべてが良い思い出に

走り終わるとすべてが良い思い出になるものです。一人脱水症状を起こしたスタッフもありましたが全員完走という形で幕を閉じました。自分はテンションの高さとは裏腹に、身体は正直で足はガクガク。次の日も出勤だったため、産まれたての小鹿のような足で車を運転して帰宅しました。

今回は完走した達成感とみんなで走ったという充実感、そして2日後に筋肉痛がくるという小さな切なさを感じることができたと思います。そして来年こそは2時間を切って完走したいと感じました。

医療・介護事業を前進させる設備投資のため 協会債・基金への協力をお願いします

● 協会債(利率)

- ・ 1年債 0.2%
- ・ 2年債 0.3%
- ・ 3年債 0.4%
- ・ 5年債 0.6%
- ・ 中途解約 0.05%
- ・ 積立方式(職員のみ)

● 基金

- ・ 通常 一口1000円から
- ・ 積立方式(職員のみ) 一口1000円から

※申込書は各事業所の友の会事務所または総務にあります。



終了後、仲間達と。会場では牡蠣汁がふるまわれました